

2001
4月号

たんぽぽ

兵庫県養父郡養父町源畑八二番地の六
平成二〇二六電話(0796)651-0223



母と暮らす

院長

19の春に進学のため故郷を離れ、母と別れを告げてかれこれ35年。再び母と一緒に暮らせるようになろうとは思へもしなかった。

90歳にもよろうと、うのに独居生活を楽しんでいた母であったが、あの阪神大震災で被災した。そのため心身ともにめまい弱ってしまい、長男との同居を余儀なくされたが、不幸な事故が起り、以後寝つきに付ってしまった。それでア人の子供たちが利用する。最近は但馬の空気にも慣れたのによる看病と介護が始まった。要介護度5のか、母の表情は穏やかで気持ちよさそうにじつと認定も受けられ介護保険を利用しながら神戸で3年間在宅介護を続けていたが、引き続き私たち夫婦で在宅介護を引き継ぐこととなり、今春より但馬で母を迎えての生活が始まった。

眠つてゐる母の顔を見てみると幼少の頃、着物のたもとをしてかりつかみ買ひ物について行つたことのようなケヤー・ランが作れなくて、ケヤーマネージャーが思へ出される。不自由な体になつたとは、え、あの頃の面影が今も凜として残つて、うことが誇らしい。まほ嚥下困難なため経管栄養のチューブが入つて、環境の変化にもつて行けず発熱・床ずれを繰り返す。四肢の関節拘縮が悪化してさうにため、日に6回行うおむつ交換。清拭時、関節を動かすと痛みが増すらしく、さらに力がは、うため、もうそれは女房と二人で母と格闘してさうようだ。介護の主役は女房である。日に4回の栄養注入やおむつ交換、褥瘡の予防の体位变换、保清、痰の吸引、居住環境

整備などどれも欠かせない。私は朝に弱いので朝5時のおむつ交換だけは女房任せになつてしまつのが申し訳ない。但馬でも介護保険の利用をして、月・火・水・木とヘルパーさんによる訪問介護を受け、金曜はデイサービスで入浴もさせて、ただく日課である。土曜は訪問診療、ボータブル浴槽に入浴させるが、これは重労働で訪問看護の日。日曜日は自宅で女房と二人でボータブル浴槽に入浴させるが、これは重労働で

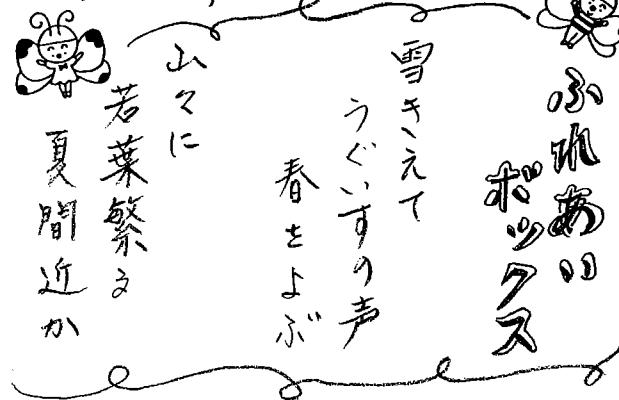
見て困つて、昨年の制度改正により改善し

たところなどアキを探すのに苦労するという。施設職員など制度にかかる人たちが、寝たきり老人・痴呆老人を抱える介護者の苦労を共有でき、よう心掛けて、ただきた。利用者の立場を理解し血の通つた介護事業を行うことにより、この制度をさらに改善し日本にしっかりと足着

お願い

森医院では血液検査の結果とお薬の説明書をコピーし、患者の皆様へお出ししています。お家でゆっくり見ていたいきましたら、その後大切に保管して下さい。例えば健康チケットはさんでおくとか保険証と一緒に袋に入れておくなど……。

他の病院(医院)を受診される場合は必ず持参して提示していただけます。



テレホンマガジン

0796(55)0151

(4月のテーマ)
月曜日 うちの子、風邪にかかりやすいのはなぜ?

火曜日 歯垢と歯石

水曜日 高血圧と上手につきあうために

木曜日 予防接種を受けるときの注意

金土日 寝ちがいについて

(5月のテーマ)

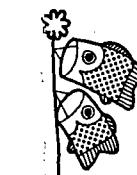
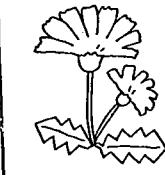
月曜日 増加する卵巣癌

火曜日 虫歯とフッ素

水曜日 胸やけのはなし

木曜日 老人性痴呆症のはじまり

金土日 電磁波が体に与える影響



ふくに
雪
うぐいすの声
春をよぶ
ホウクス

若菜繁々

夏間近か

前立腺がん



前立腺は、男性だけがもっている臓器です。

前立腺がんは、老化により、性ホルモンのバランスがくずれたり、環境や食生活など種々の要因が加わって発生する病気と言われています。

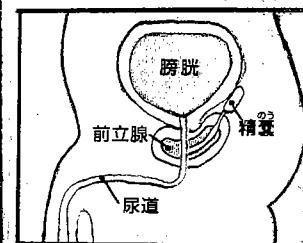
前立腺がんはもともと欧米に多く、日本では欧米の10分の1から20分の1といわれ、発生率の低いがんでしたが、最近日本でも前立腺がんが急増しています。

◆◆◆がんと肥大症のちがい◆◆◆

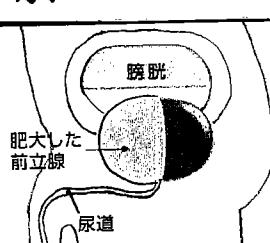
	前立腺がん	前立腺肥大症
発生部位	主に前立腺の外腺	前立腺の内腺
病理像	悪性腫瘍(がん)	良性腫瘍
ホルモン依存性	あり	あり
年齢	比較的高齢者	比較的若年者
発生因子	食生活、生活習慣などが関係する。人種、国などにより発生率に差がある。	食生活や生活習慣との関わりは、がんほど強くない。
症状	初期: 無症状 排尿障害 膀胱刺激症状 進行期: 血尿、腰痛	初期: 排尿障害 膀胱刺激症状 排尿困難 進行期: 残尿、尿閉
転移	する	しない
PSA検査	陽性	陰性

◆50歳を過ぎて排尿に異常を感じたら、すぐに医師の診察と検査を受けましょう。

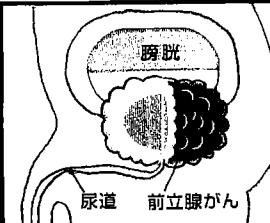
正常



前立腺肥大



前立腺がん



花粉症って何だ?



花粉症とは、スギなどの花粉によって起こる眼や鼻のアレルギーです。普通の人なら異物(花粉)が体に入ってきたら簡単に処理してしまうのに、体が大騒ぎしてしまうのがアレルギー病です。その結果くしゃみ、鼻水、鼻づまり、眼のかゆみなどの症状が出現します。

花粉症を克服する5つのステップ

- ① お医者さんに診てもらいましょう
- ② 症状が出たら何が原因なのかを医師に調べてもらいましょう。
- ③ 正しい治療を受けよう
- 原因がわかったり、次は治療です。症状や、体質に合わせた治療が始まります。
- ④ 医師や薬剤師の説明をよく聞くことも大切です
薬を飲むと眠くなるとか、症状がなかなか改善しないといったことは、医師と相談しましょう。
- ⑤ 花粉症の治療は続けることが肝腎
- 症状が治まってきたからといって治療を怠ると花粉症は再びあなたを襲いかねません。また、すぐ治らないからと通院をやめてしまっては、いつまでも花粉症に悩まされることになります。根気よく、治療を続けましょう。
- ⑥ 生活の中で花粉症を重くしない工夫を
- マスクやメガネを着用するなどして、花粉症を軽くする工夫をしましょう。

編集後記 暖かい冬よ春に春の匂いを感じるようになりました。何だかじょうきうき、外へ散歩に出かけたくなりましね。ふれあいボックスへのお手紙等お待ちしています!

